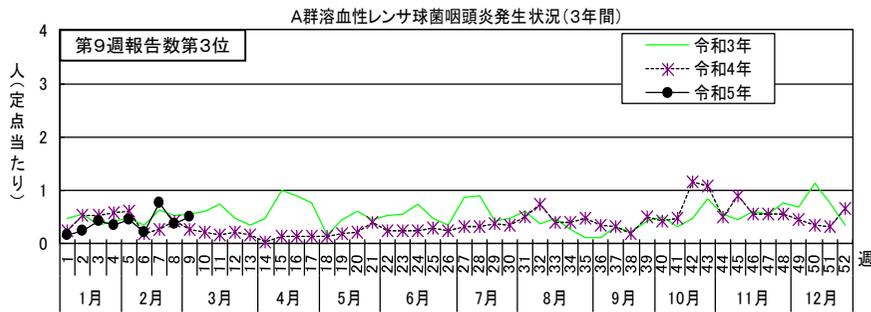
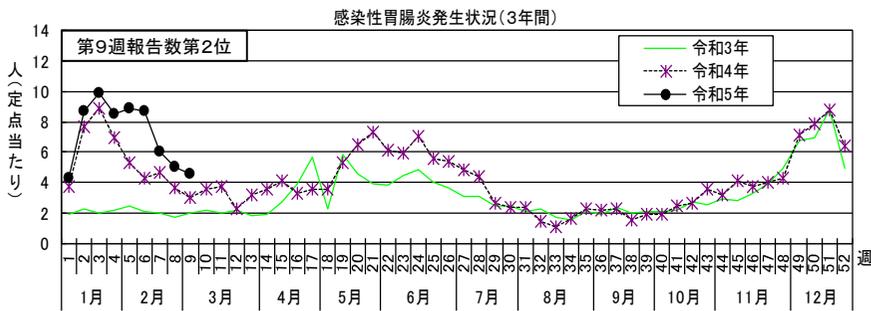
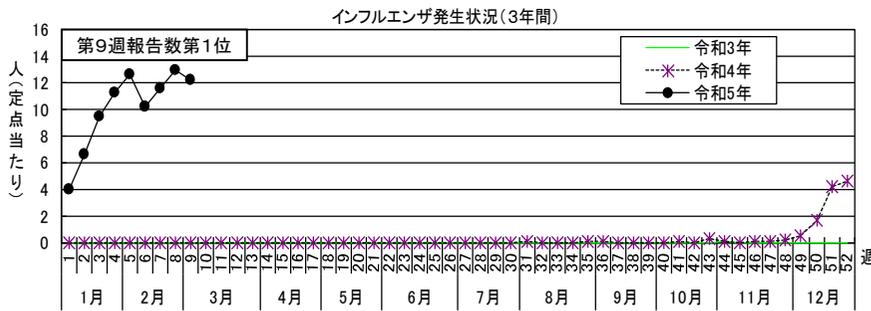


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年2月27日（月）～令和5年3月5日（日）〔令和5年第9週〕の感染症発生状況

第9週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）インフルエンザ 2）感染性胃腸炎 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は12.23人と前週（12.95人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.59人と前週（5.03人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.51人と前週（0.38人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

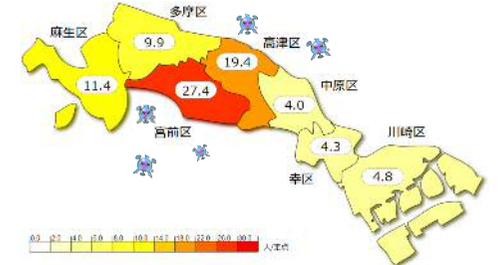


インフルエンザの地域的な流行がみられています！

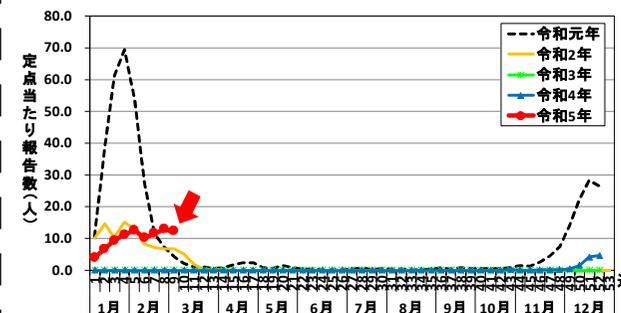
川崎市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は、令和5年第9週（2月27日～3月5日）に12.23人で、引き続き地域的な流行がみられています。特に宮前区では、第8週（2月20日～26日）に流行発生警報基準値（定点当たり30.00人）を超え、第9週も27.40人でした。また、第9週のインフルエンザによる学級閉鎖の報告数も、宮前区の小学校が8件中計6件と最も多くなっています。

お子さんの体調には十分に注意し、調子が悪いようであれば自宅等で休息をとるように心がけましょう。

川崎市におけるインフルエンザ分布マップ (令和5年第9週)



川崎市におけるインフルエンザ発生状況(5年間)



川崎市内の学校等における学級閉鎖実施状況 (令和5年3月6日時点集計)

